

一宮駅周辺地区ウォークابل推進事業 に係る対話型説明会

2024年 8月27日
2024年10月20日

一宮市 まちづくり部 都市計画課

本日の内容

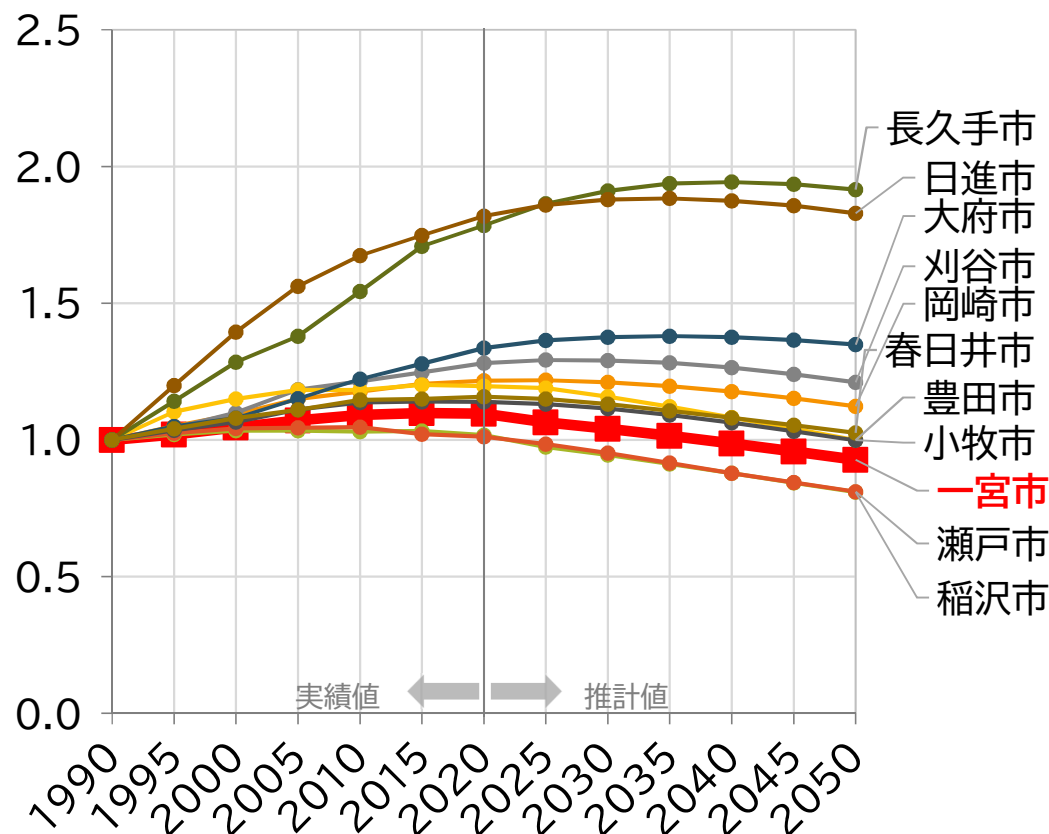
1. 一宮駅周辺地区ウォーカブル推進事業の目的と意義
2. 事業の経緯
3. 第2回まちなかを考えるシンポジウムにおける
デザイン懇談会からの提案について
4. デザイン懇談会の提案における交通影響と検討課題
5. 意見交換

1. 一宮駅周辺地区ウォークブル推進事業 の目的と意義

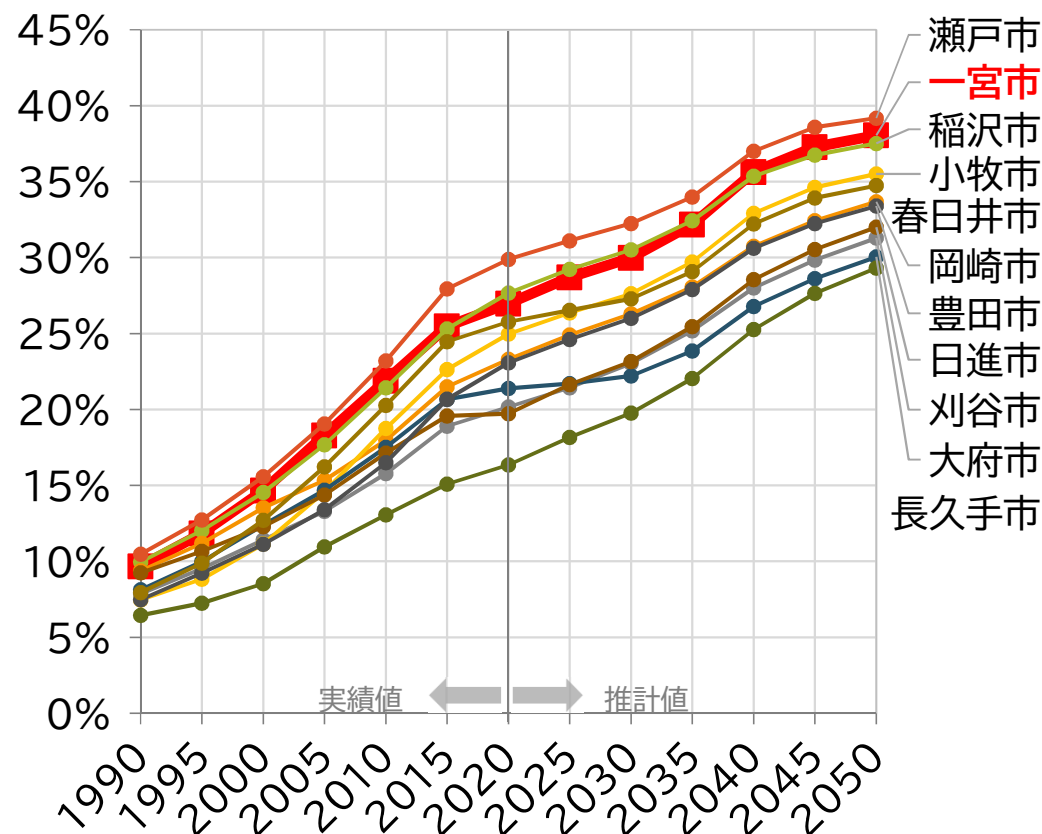
人口減少と高齢化の進展

- 一宮市の人口は2012年の38万6千人台をピークに減少傾向に転じている
- 周辺市より速いペースでの人口減少・高齢化の進展が予測されており、都市の競争力を高める必要

人口推移(1990年を1とした場合)



高齢化率



出典)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(令和5年12月公表)に基づく推計値

一宮市の財政

- 財政の見通しでは、生産年齢人口の減少に伴い市民税の減少が見込まれる
- 一方で、高齢者の増加に伴い老人福祉費の増加が予想され、財政状況の逼迫が懸念

市民税 **-42.3億円(18.3%減)**



老人福祉費 **+11.5億円(21.6%増)**



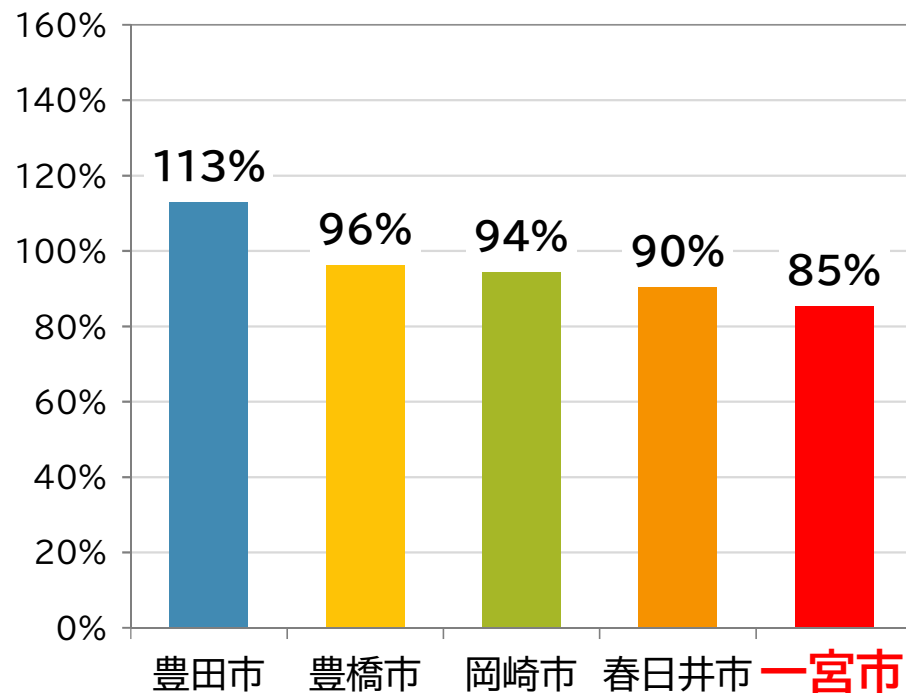
注) 2015 年度(平成 27 年度)一般会計歳入歳出決算書における市民税(予算現額)及び老人福祉費(支出済額)を、対象市民数(市民税:15-64 歳・老人福祉費:65 歳以上と設定)で除し、1 人あたり税収・支出額を設定し、社人研(H30)の将来人口推計に乗じた値

資料：国勢調査、「日本の地域別将来推計人口(2018 年(平成 30 年)推計)」, 国立社会保障・人口問題研究所

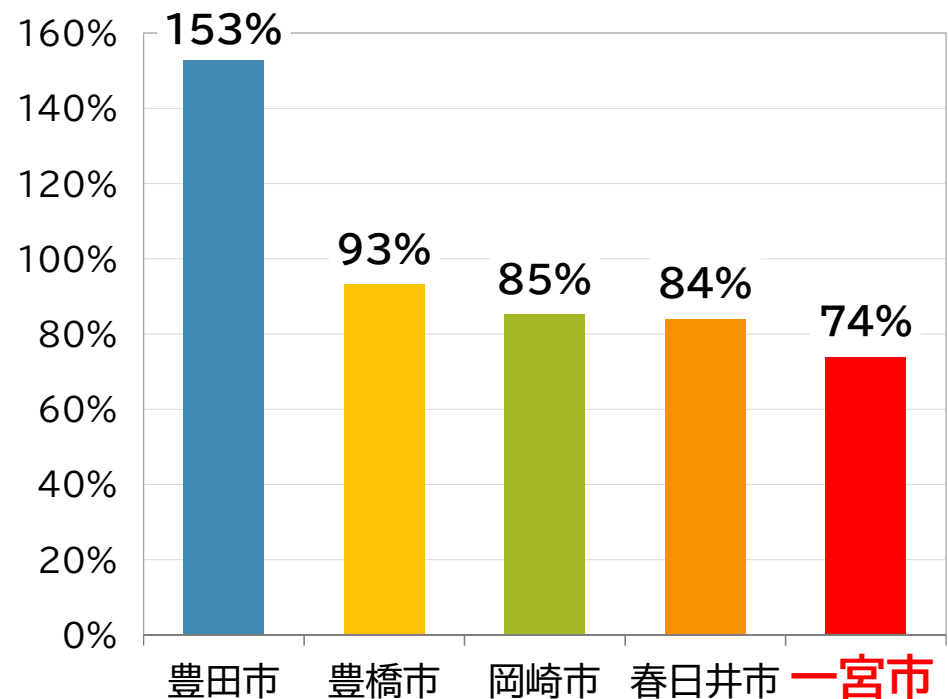
地域経済の自立度

- 一宮市の昼夜間人口比率は低く、市外で働き、市外で消費する人が多い傾向
- 地域経済循環率も他都市に比べて低く、稼いだお金が消費において他都市に流出

昼夜間人口比率



地域経済循環率

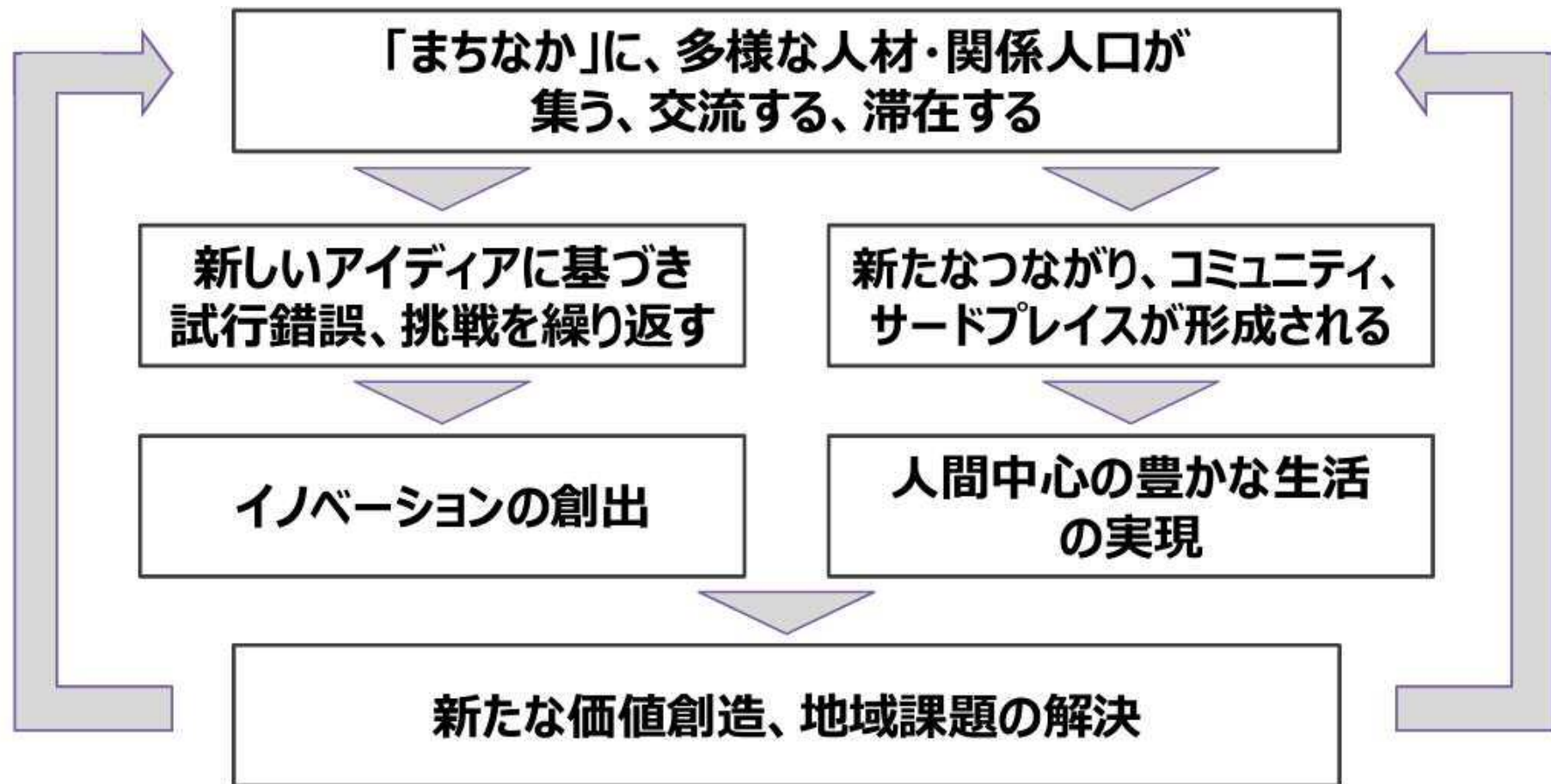


愛知県内20万人以上の市の比較

地域経済循環率：地域内の生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示す

魅力的な都市づくりの推進の必要性

- 中心市街地への投資し、「まちなか」に多様な「ひと」が集まることで、新たな「しごと」が生まれ、さらに人が集う好循環へ
- まちなかの取組は市の魅力と価値を高め、更なる地区への再投資により、市全体の暮らしや経済に波及効果を生み出す好循環を創りだすことが必要



一宮市のまちなかの危機

- 当プロジェクト開始前の2020年度の市政アンケートでは、回答者の約8割がまちなかには賑わいを感じておらず、居心地の良さや親しみを感じている市民も過半数に満たず、危機的な状況

※その後2023年度市政アンケートではやや改善

銀座通りの昼間



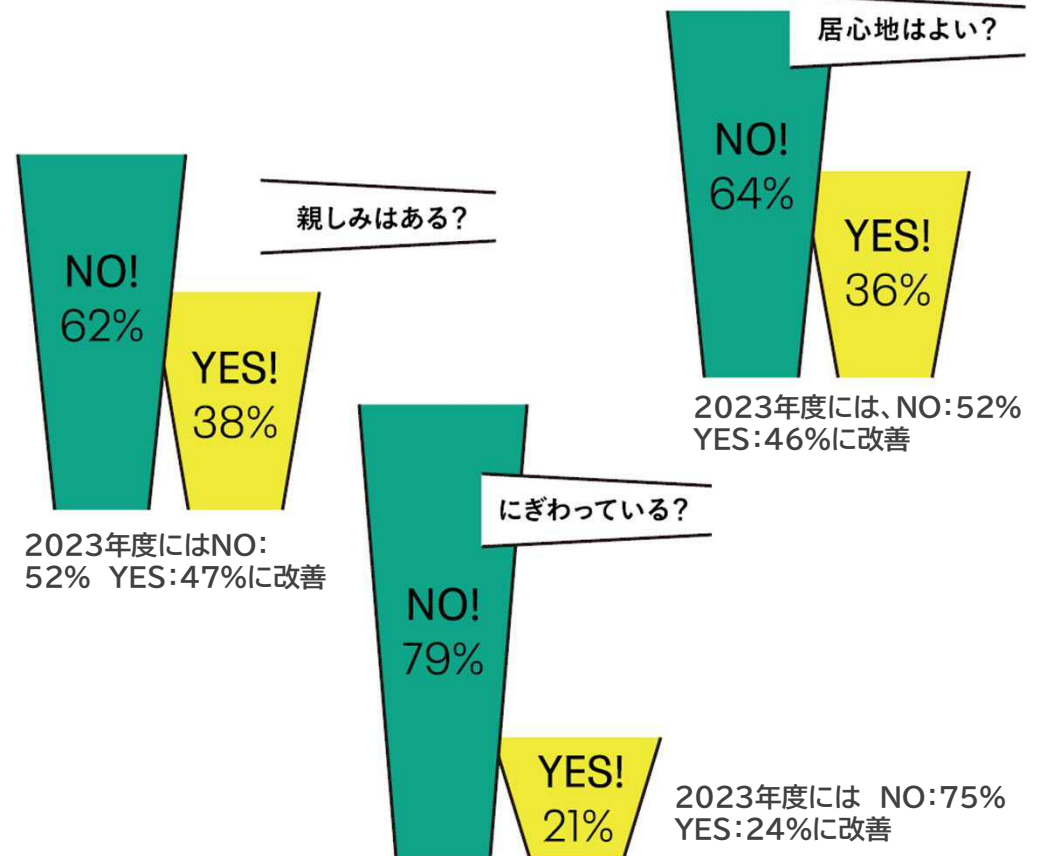
本町通りの昼間



みどりが少なく駐車場や車道、自動車が多い中心の空間

※図中の数値は、当プロジェクト開始前の2020年度市政アンケートの調査結果

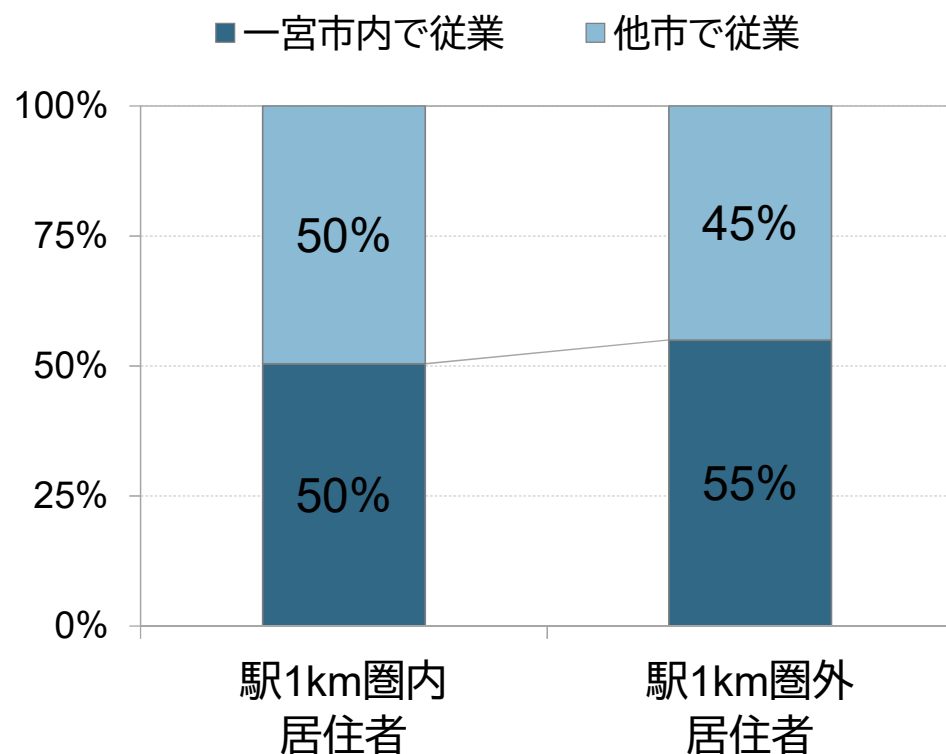
回答者約1,200名(3,000名配布)。その後2023年の市政アンケートでやや改善



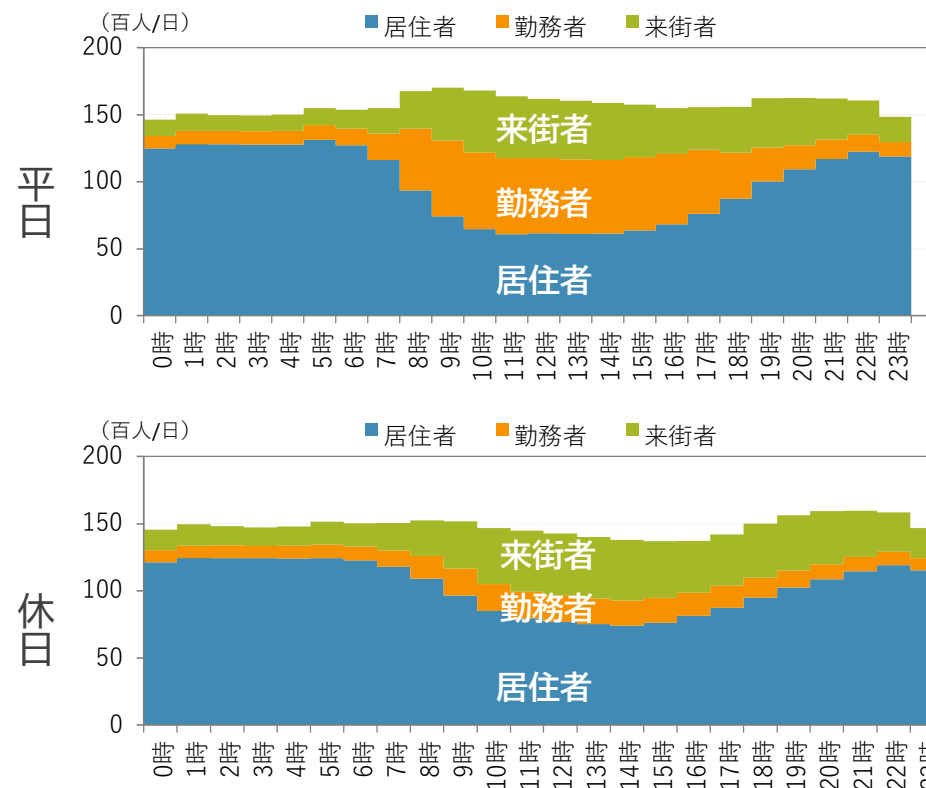
少ない昼間人口

- ・ 一宮市民の働く場は市外が半数を占めており、特に一宮駅に近い人ほど市外の割合が大きい
- ・ 駅周辺であっても、日中に滞在している人が少なく(夜間と同じ程度)、ベッドタウンとなっている

駅周辺及び市内居住者の市内外従業地割合



駅1km圏内の時間帯別滞在人口(2019年)



※居住者: 駅1km圏内の居住者
 勤務者: 駅1km圏内の勤務者
 来街者: 駅1km圏外の居住者(駅1km圏内勤務者除く)
 ※ 20歳以上の人のうち、60分以上滞在した人を推定

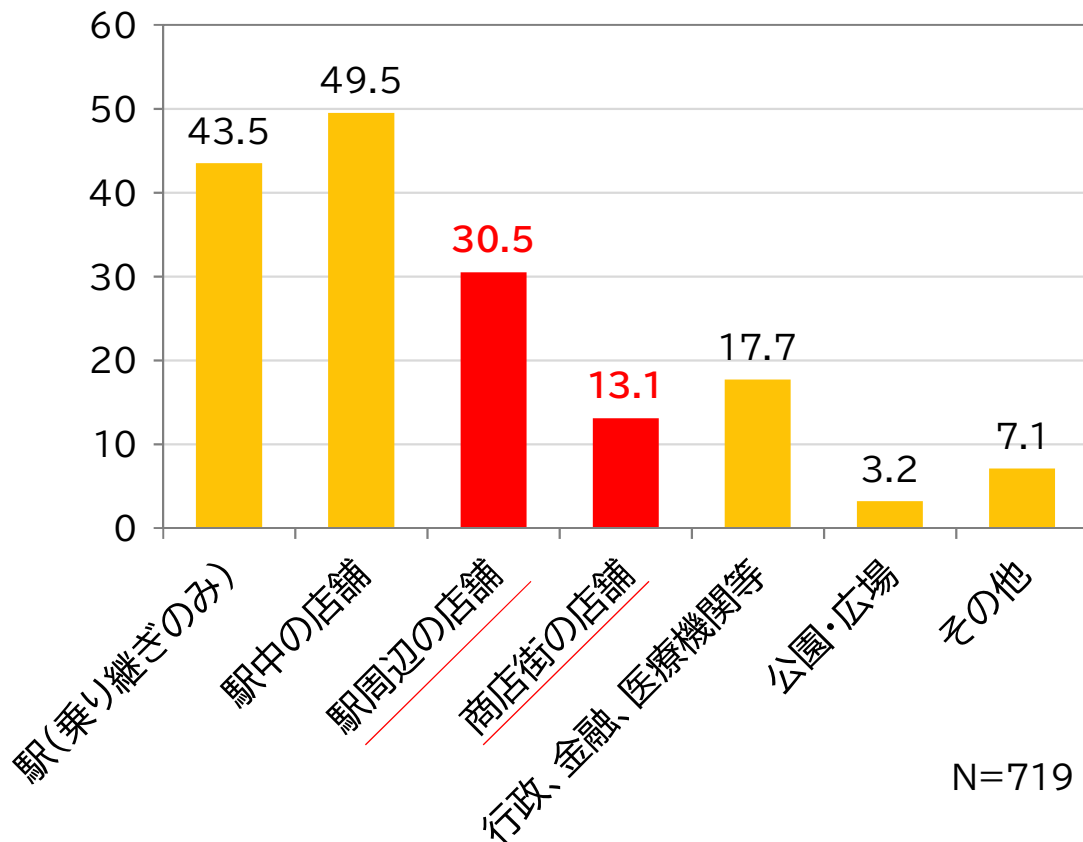
出典) KDDI Location Analyzer

出典) 2020年国勢調査

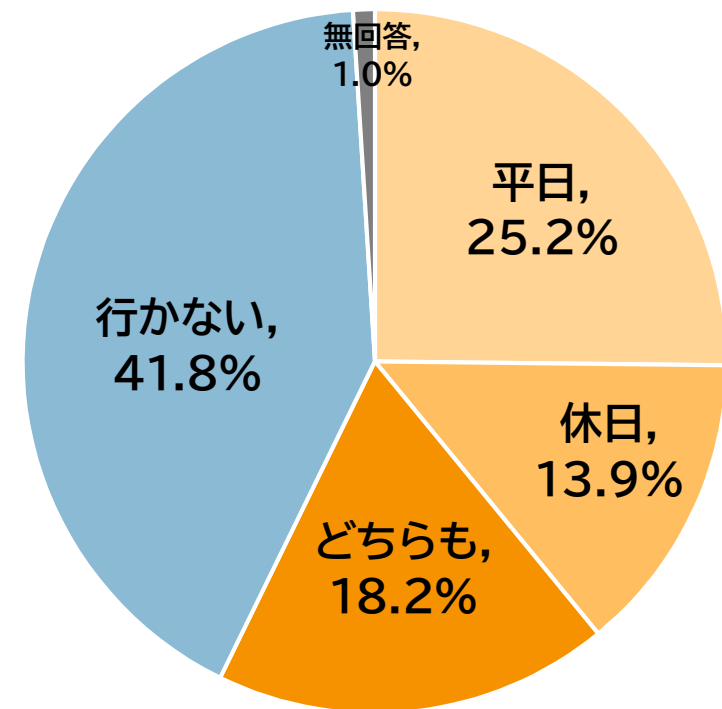
一宮駅からまちへの人の流れ

- 一宮駅は1日約9万人の乗降客が利用する尾張地域最大の鉄道駅であるものの、駅から駅周辺店舗に訪れる人は3割、商店街は1割程度に留まる
- 市民の4割が一宮駅及び駅周辺に訪れる機会がなく、駅周辺に人を呼び、駅からまちへの人の流れをつくる必要

駅周辺に訪れる人の目的地の割合



一宮駅及び駅周辺に訪れる人の割合



一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクトの始動

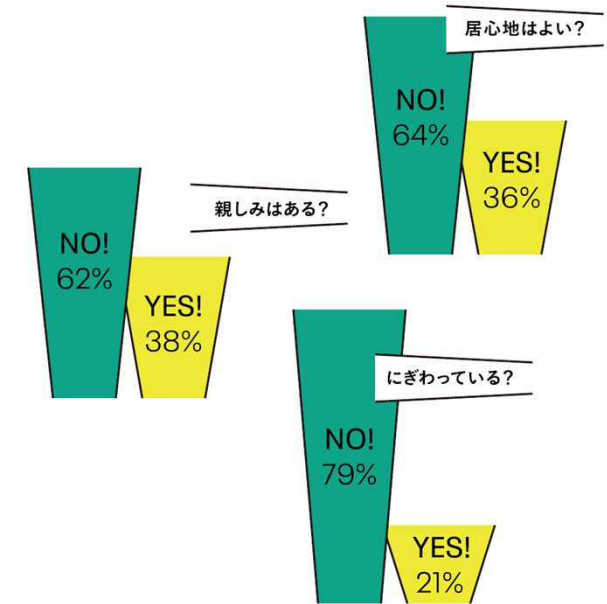
銀座通りの昼間



本町通りの昼間



みどりが少なく駐車場や車道、自動車が多い中心の空間



～2019(R1) 駅周辺での駅前ビルの建設など多くの事業 ⇒ 人の流れは生みだせていない

2020(R2)～

一宮駅周辺約1km圏内において、人が主役となれるよう居心地が良く歩きたくなる空間づくりを民間と行政が一緒になって取り組む
一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクトを始動

2. 事業の経緯

プロジェクトの経緯

2020年度

一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクト 始動

「つかう」・「つなぐ」取り組み

「つくる」取り組み

2021年度

ウォーカブル社会実験 ストリートチャレンジ2021

2022年度

一宮まちなか未来会議設立

一宮駅周辺地区
デザイン懇談会の設置

2023年度

ワークショップ
や勉強会

ウォーカブル社会実験
ストリートチャレンジ
2022 2023

有識者からエリアデザイン
やマネジメントについて、
アイデアをいただく

2024年度

未来ビジョン策定・公表

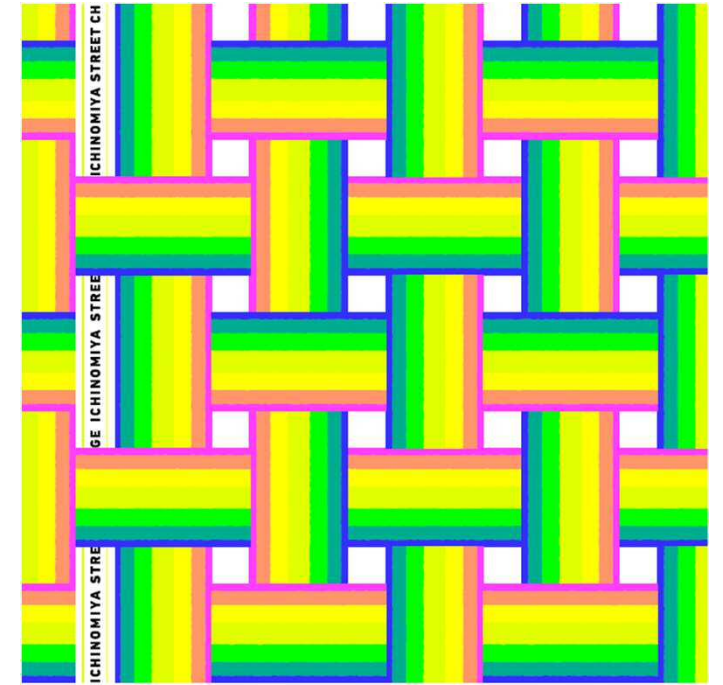
地域の皆さまとの対話を
重ね、整備の大きな
方向性を検討

具体的なアクションの展開

ウォーカブル社会実験 ストリートチャレンジ(2021年～)

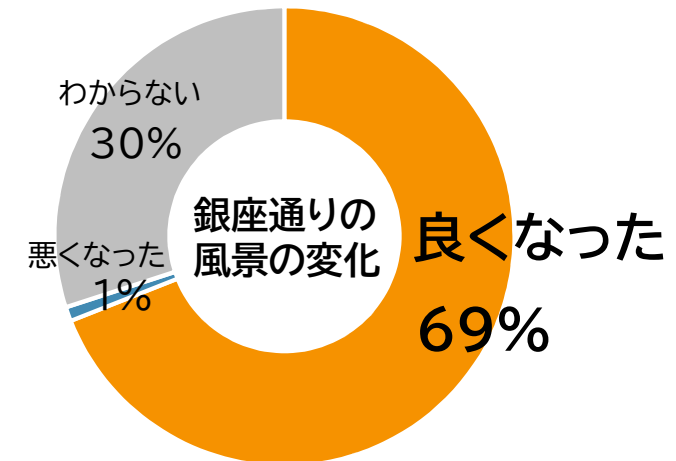
活動の巻き込みとまちなかのポテンシャルの再発見

- 2021年には19団体、2022年には約30団体に拡大
- 歩行者数は2021年で9千人、2022年では倍の1万8千人に
- 2022年はプログラムの売上が1,000万円に



まちなかウォーカブル社会実験 ストリートチャレンジ

滞在性の向上が人通りを生む



一宮まちなか未来会議の設立(2022年6月～)

地域や行政、企業が一体となって中心市街地に関する様々な取り組みや情報を議論し、具体的な活動につなげていくための組織

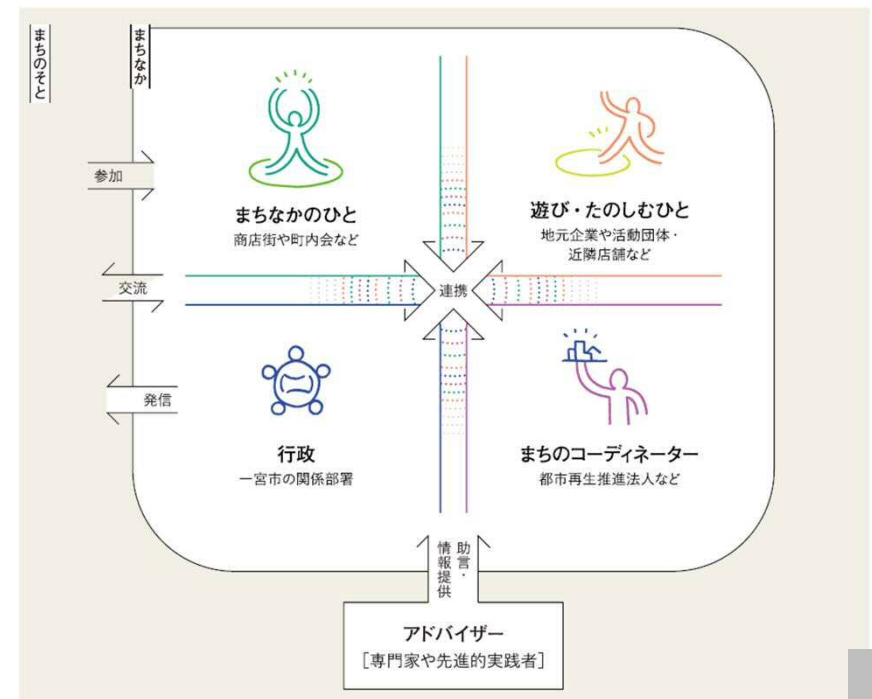
主な目的と活動内容

- まちなかの将来像をつくる未来ビジョンの策定及び策定に資する活動
- まちなかの課題解決のための実践的活動
- 会員間の情報共有や交流、連携支援

設立総会・勉強会の様子



会員数 本会員27名、活動会員19名



一宮まちなか未来ビジョン 2024年版の公表

『杜・まち・人が織りなす、驚きや発見の生まれる次の100年へ』

- ① まちなかに関わる様々な主体が、まちなかの望ましい未来を議論し、共有し、連携すること
- ② まちなかのこれからの変化や期待を市内外の多くの方に知ってもらい、興味を持ち、関わってもらうこと
- ③ まちなかの取り組みと変化を記録し、新たな展開に柔軟に対応しながらその活動を発信すること

未来のまちなかのイメージ



本町通りエリアビジョン イメージ



銀座通りエリアビジョン イメージ



一宮駅周辺地区デザイン懇談会の設置(2022年～)

専門家や有識者を中心とした一宮駅周辺地区全体のエリアデザインやマネジメントについて、ソフトとハードの両面から、そのあり方を検討する組織

未来デザインを提案するとともに、行政と市民とのコミュニケーションを支援

懇談会委員

五十音順・敬称略

主な検討内容

	氏名	所属
座長	出村 嘉史	岐阜大学社会システム経営学環 教授
委員	稲井 正史	株式会社みずほ銀行 一宮支店長
委員	大野 暁彦	名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科 准教授
委員	稀温	KionStudio 代表／コーディネーター
委員	喜多 茂樹	株式会社エコ建築考房 代表取締役(2023～)
委員	竹内 誠	一宮市景観専門監(2023～)
委員	名畑 恵	錦二丁目エリアマネジメント株式会社 代表取締役
委員	西村 浩	株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役
委員	星野 博	都市再生推進法人 特定非営利活動法人志民連いちのみや 理事長

2022年度

- ・一宮駅周辺地区が目指すべき姿
- ・未来デザインの検討プロセスのあり方
- ・対象エリアの考え方

2023年度

- ・具体的な空間デザイン
- ・官民連携による整備・運営の仕組み作り



本町通り



銀座通り



一宮駅周辺地区デザイン懇談会での議論(2022年度)

一宮駅周辺地区が目指すべき姿

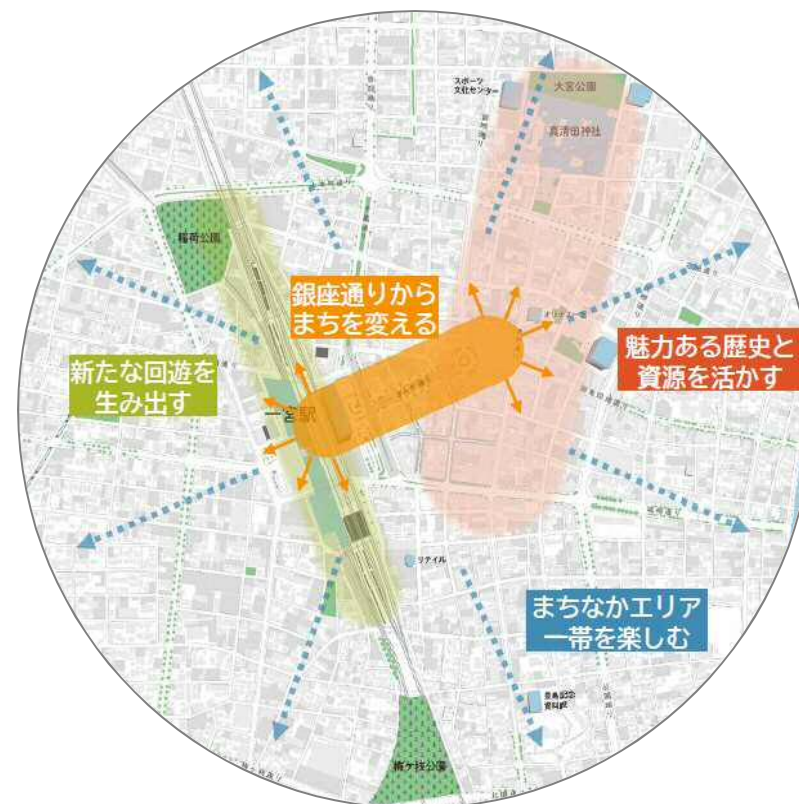
- 人中心のまちづくりへの転換
- 都市拠点・交通結節点としての役割
- 人の誘導とベッドタウンからの脱却
- スピード感のある変革
- 地域と市全体の好循環を創りだす

検討プロセスのあり方

- これまでの計画にとらわれない進め方
- オープンで透明な実施プロセス
- シティイメージの更新
- 社会実験の効果的な活用

未来デザインエリアの考え方

- 銀座通りからまちを変える
- 魅力ある歴史と資源を活かす
- 新たな回遊を生み出す
- まちなかエリア一体を楽しむ



一宮駅周辺地区デザイン懇談会での議論(2023年度)

空間デザイン検討

- 空間デザイン方針
- 計画のポイント
- 整備及び運営手法
- 整備による交通影響の検証

まちなかを考えるシンポジウム

- まちなかに対する期待や不安の声の収集
- これからのまちづくりに対する関心や参画への呼びかけ
- オープンディスカッションの試行

一宮市ウォークアブル空間デザインプロジェクト

まちなかを考える シンポジウム

2024
2/28水
13:30-15:30

会場
尾張一宮駅前ビル(i-ビル)
7階 シビックホール 託児所あり

第1部 基調講演
「これからの不動産経営と公共空間活用のふか〜い関係」

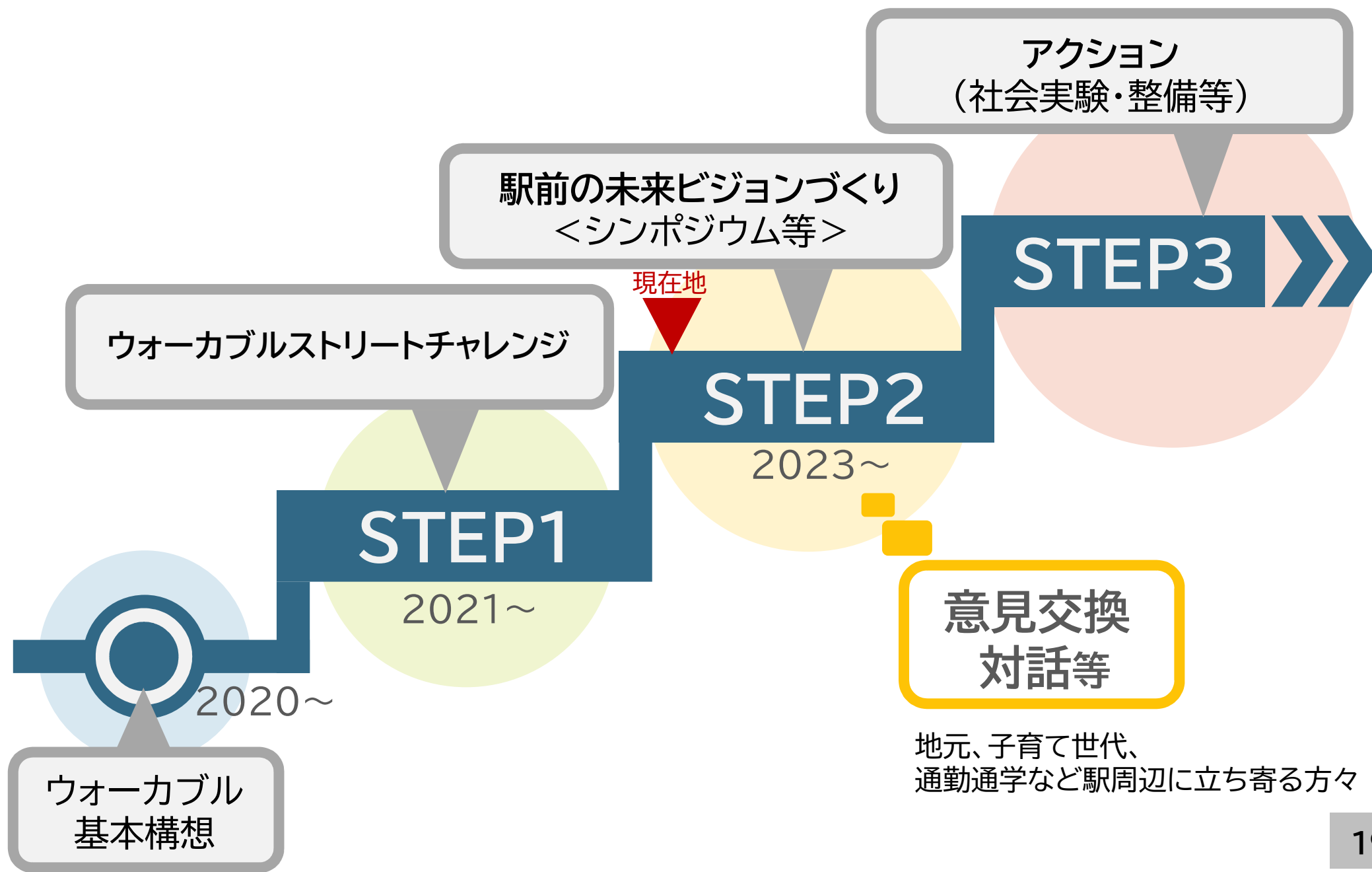
西村 浩
建築家/クリエイティブディレクター

第2部 まちなかアイデアディスカッション
|進行| 岐阜大学 社会システム経営学環 教授 出村 嘉史氏

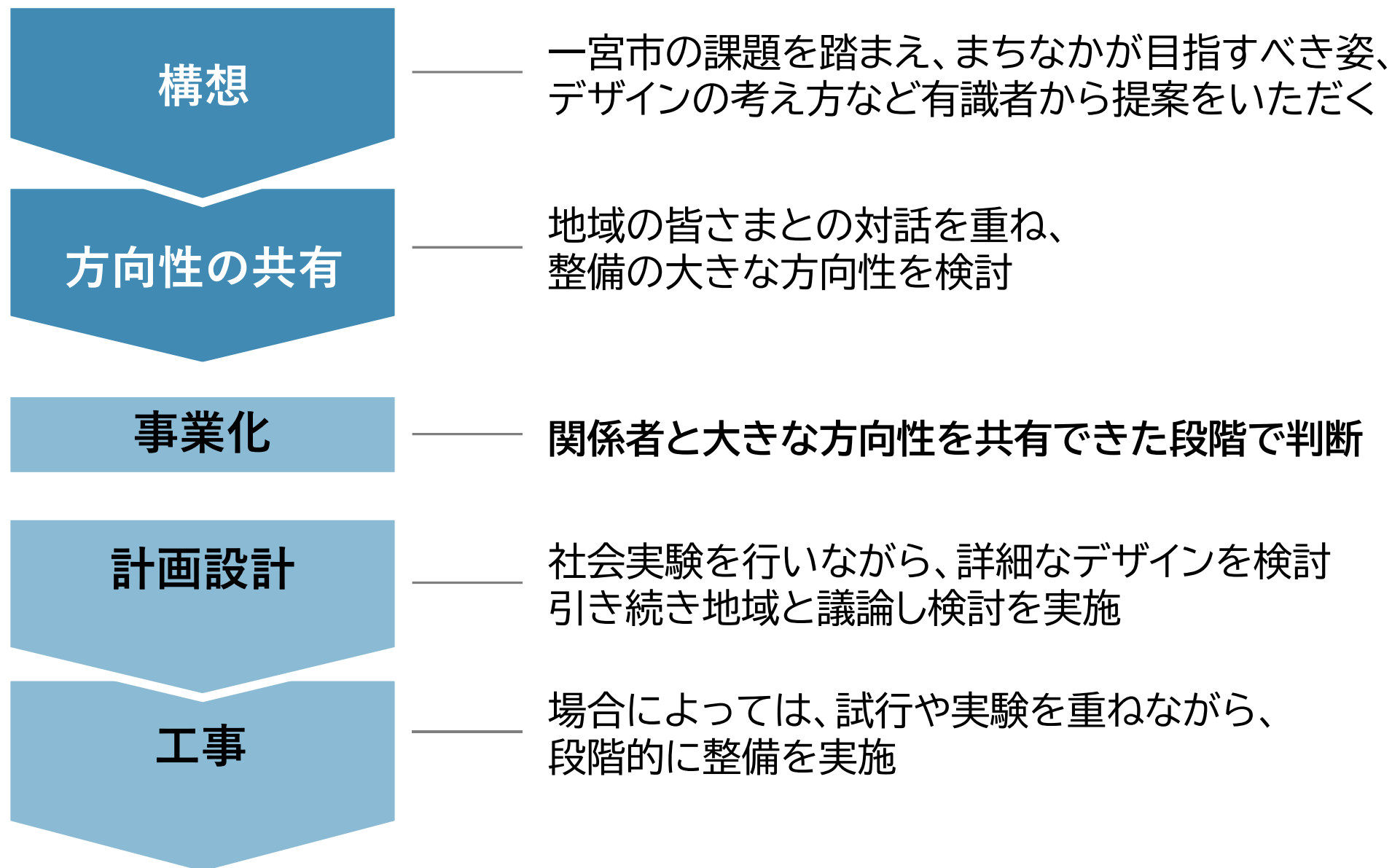
|共催| 一宮まちなか未来会議・一宮市



一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクトの今後



銀座通り整備の検討フェーズ



3. 第2回まちなかを考えるシンポジウムにおける デザイン懇談会からの提案について

第2回まちなかを考えるシンポジウム

日時 令和6年4月15日(月)

会場 i-ビル 大会議室

参加者 100名

一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクト

まちなかを考える シンポジウム

第2回

一宮駅前のこれからを考えよう

4/15月 13:30 - 16:00
2024

会場
尾張一宮駅前ビル(i-ビル) 2階 大会議室

第1部 銀座通りの未来のデザインを考えよう
| 進行 | 岐阜大学社会システム経営学環 教授 出村嘉史氏
デザイン懇談会で議論した銀座通りの未来デザインのアイデアをもとに、これからの銀座通りのあり方を皆さんと議論します

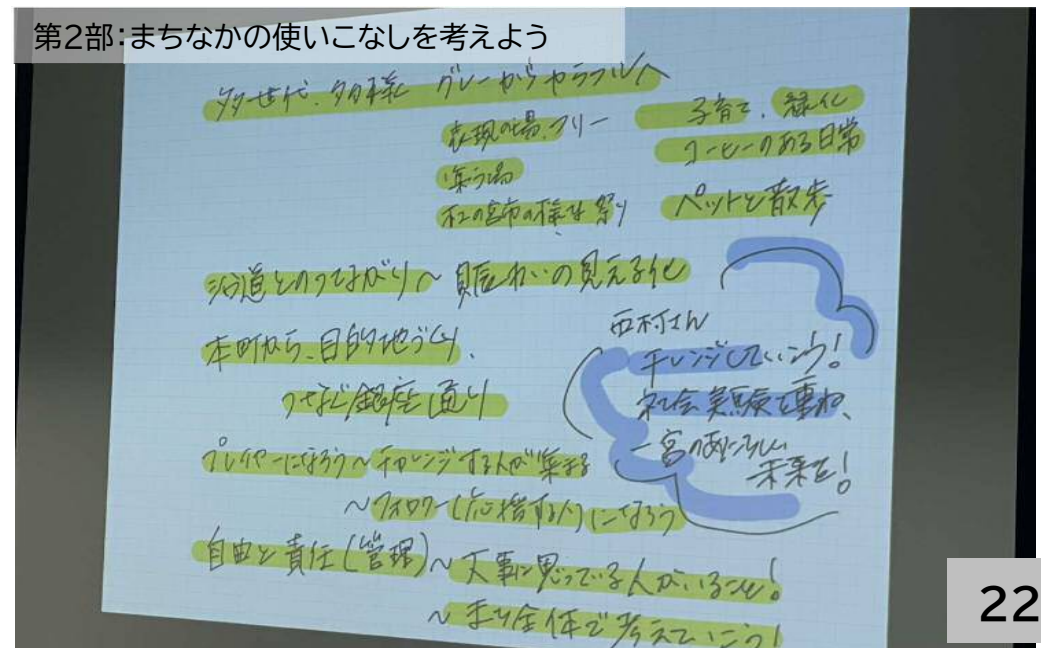
第2部 まちなかの使いこなしを考えよう
| 進行 | 錦二丁目エリアマネジメント(株) 代表取締役CEO 名畑恵氏
まちなかの様々な場所や空間をどのように積極的に活用していくか、そのアイデアを皆さんと議論します

共催 | 一宮まちなか未来会議・一宮市

第1部:銀座通りの未来デザインを考えよう



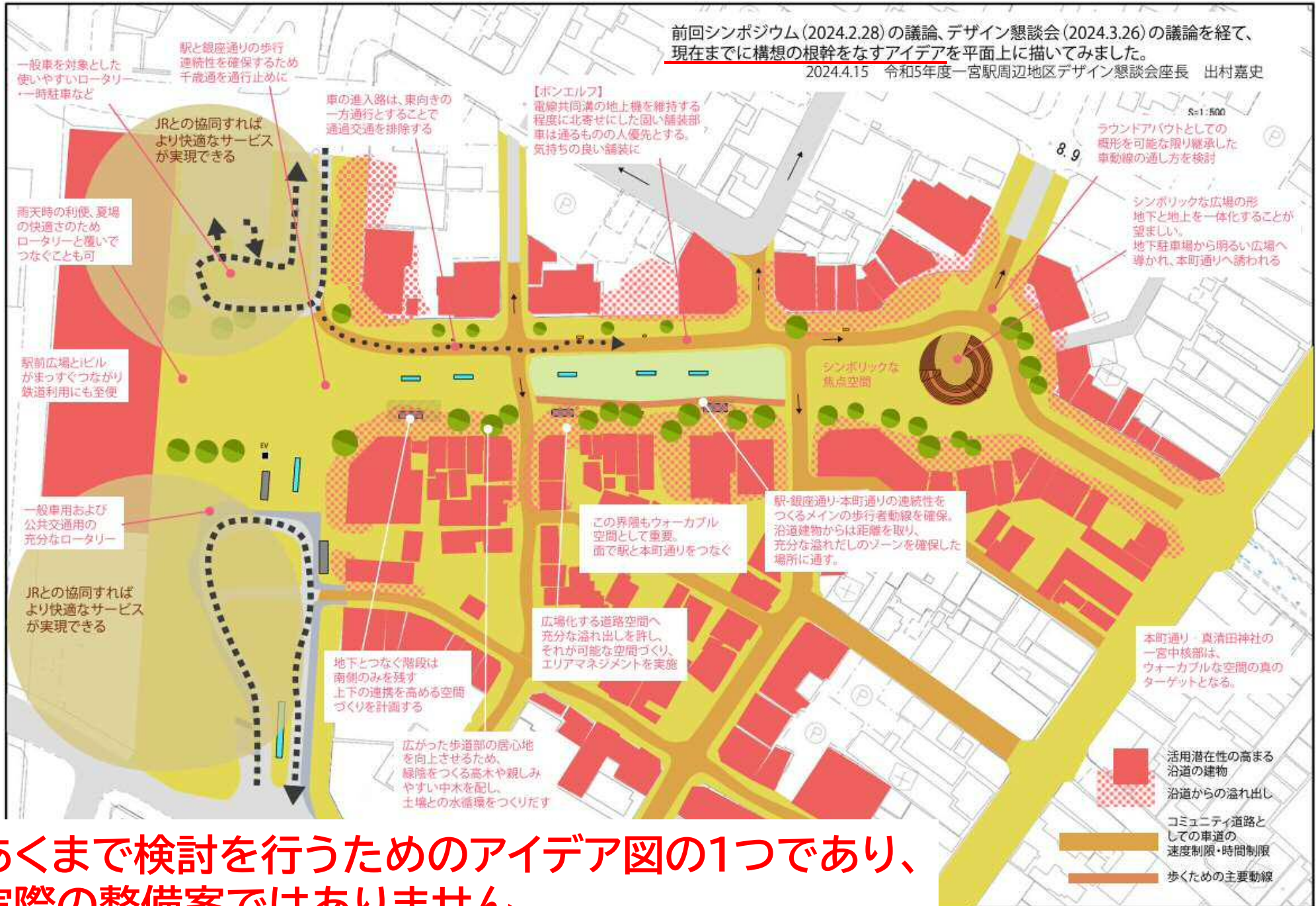
第2部:まちなかの使いこなしを考えよう



銀座通り周辺のデザインアイデア

前回シンポジウム(2024.2.28)の議論、デザイン懇談会(2024.3.26)の議論を経て、
現在までに構想の根幹をなすアイデアを平面上に描いてみました。

2024.4.15 令和5年度一宮駅周辺地区デザイン懇談会座長 出村嘉史



あくまで検討を行うためのアイデア図の1つであり、
実際の整備案ではありません。

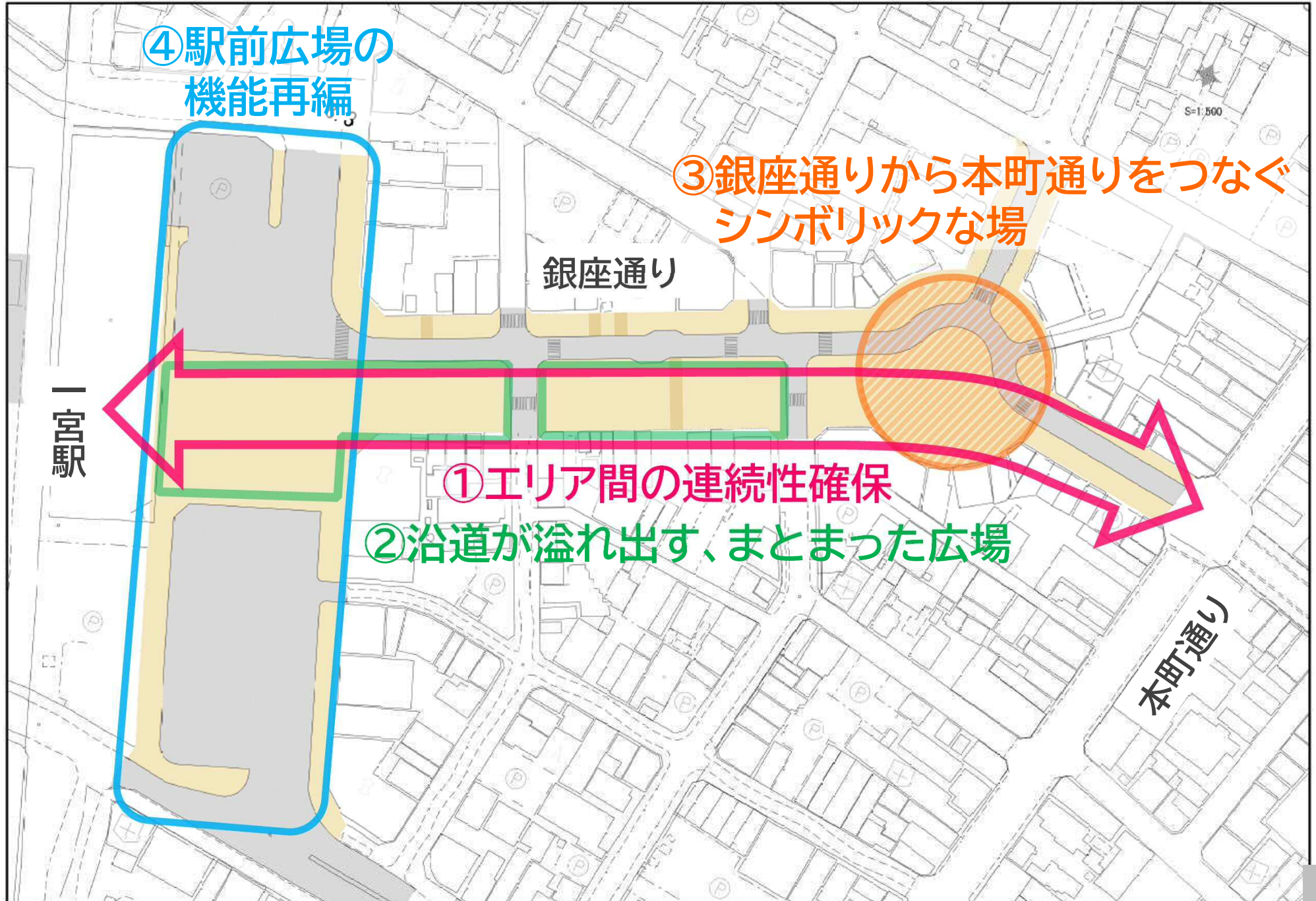
空間デザイン方針

1. 駅からまちへの人の流れをつくる
 - ・ 通過交通排除・速度抑制策で人優先
 - ・ 駅から本町へアクセスしやすく
2. 沿道と公共空間の一体感をつくる
 - ・ 沿道の土地利用を促進
 - ・ 銀座通りへ溢れ出す空間を重視
3. 人々の居場所や活動の舞台をつくる
 - ・ まちの人、そとの人が好きな時間を過ごす
 - ・ 多様な活動の舞台となるよう
4. エリア固有の風景をつくる
 - ・ 特有の産業・活動を展開してきたまちの履歴とつながる
 - ・ 挑戦に対する寛容性を高め、諸活動を支える体制や仕組みをつくる
 - ・ 魅力的な緑陰、広くみどりの在り方を発信する

計画のポイント

1. エリア間の連続性を確保する
 - 千歳通りの通行止め
 - あるくことのできる地面の連続性を改善
 - 歩道部の質を高める緑陰のデザイン
2. 沿道が溢れ出す、まとまった広場
 - 車道（車が走ってもいい路線）を北側へ寄せて、南側に広場
 - 南側沿道には、沿道からの溢れ出し余地を確保
3. 銀座通から本町通へつなぐシンボリックな場
 - ラウンドアバウト部に活動の中心的ステージを確保
 - ラウンドアバウトの円形形状を継承
 - 銀座通公共駐車場と本町通のつながりを強めるデザイン
4. 駅前広場の機能再編
 - 駅前広場の機能を適正に配置し、利便性の維持・向上を図る

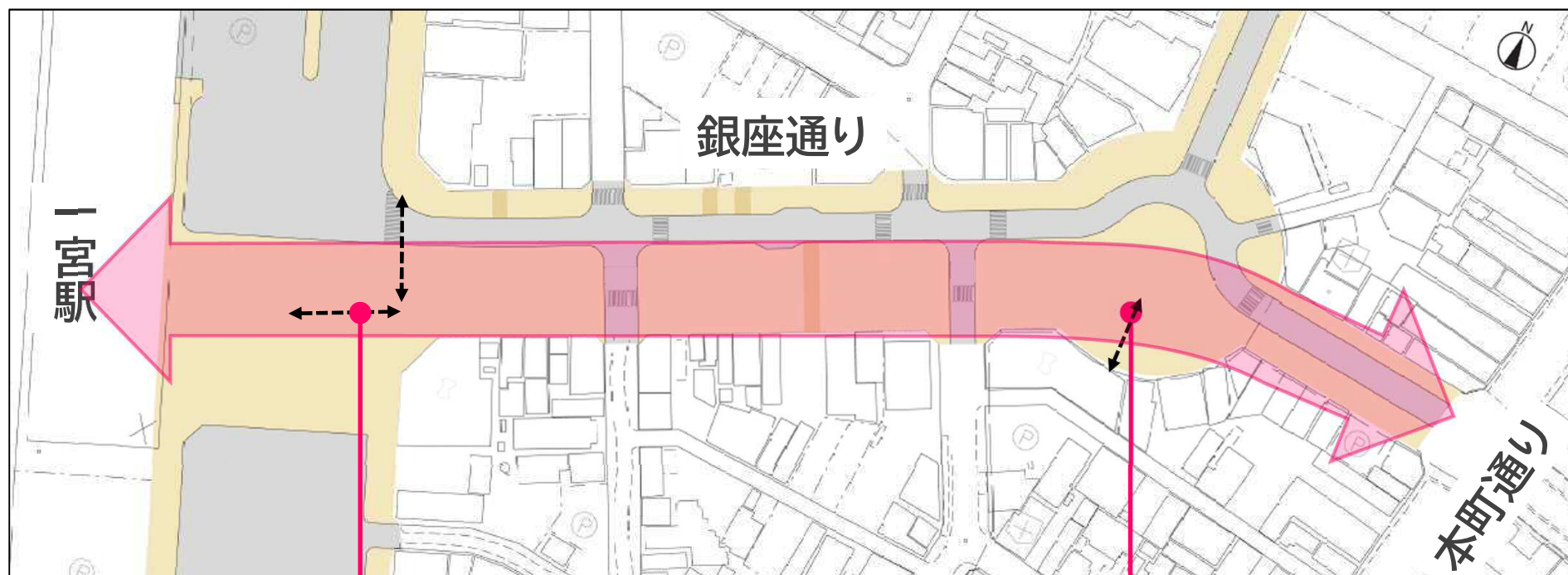
計画のポイント



至 真清田神社

①エリア間の連続性を確保する

- 千歳通りの通行止めを行うことで、駅から銀座通りへ信号待ちなく、安全かつ円滑に
- 銀座通りから本町通りへ まっすぐ、わかりやすい歩行者動線を確保する



駅から銀座通りへ信号待ちなく、安全かつ円滑に歩けるようにするため、千歳通りの通行止めを検討

現状のラウンドアバウトの歩道は狭く、迂回感もあるため、歩道拡幅し、銀座通りと本町通りの動線の連続性を改善

①エリア間の連続性を確保する

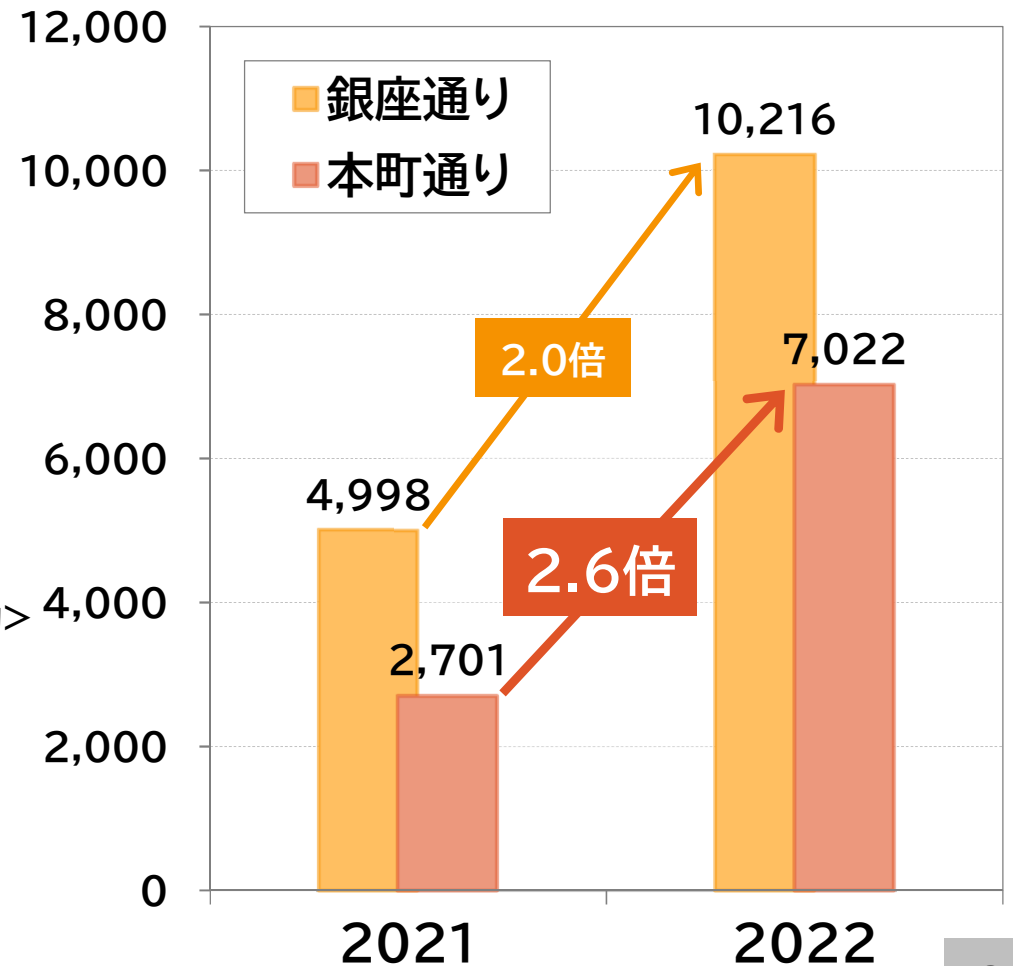
- 千歳通りの通行止めを行うことで、駅から銀座通りへ信号待ちなく、安全かつ円滑に
- 銀座通りから本町通りへ まっすぐ、わかりやすい歩行者動線を確保する

社会実験2021年

➡2022年の変化

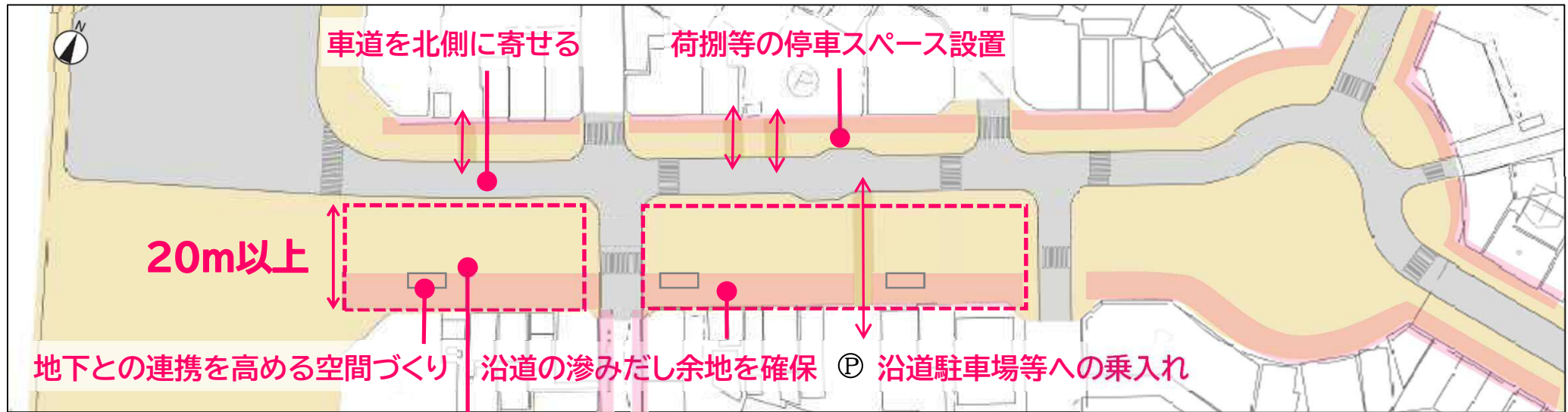


＜銀座通り～本町通りの歩行者数＞



②沿道が溢れ出す、まとまった広場

- 車道(車が走ってもいい路線)を北側に寄せて、南側に広場
- 南側沿道には、沿道からの溢れ出し余地を確保



道路を通行止めにすることなく、社会実験時と同規模のまとまった空間を創出



沿道の滲みだしのイメージ(神戸市サンキタ通り)



出典:神戸市

②沿道が溢れ出す、まとまった広場

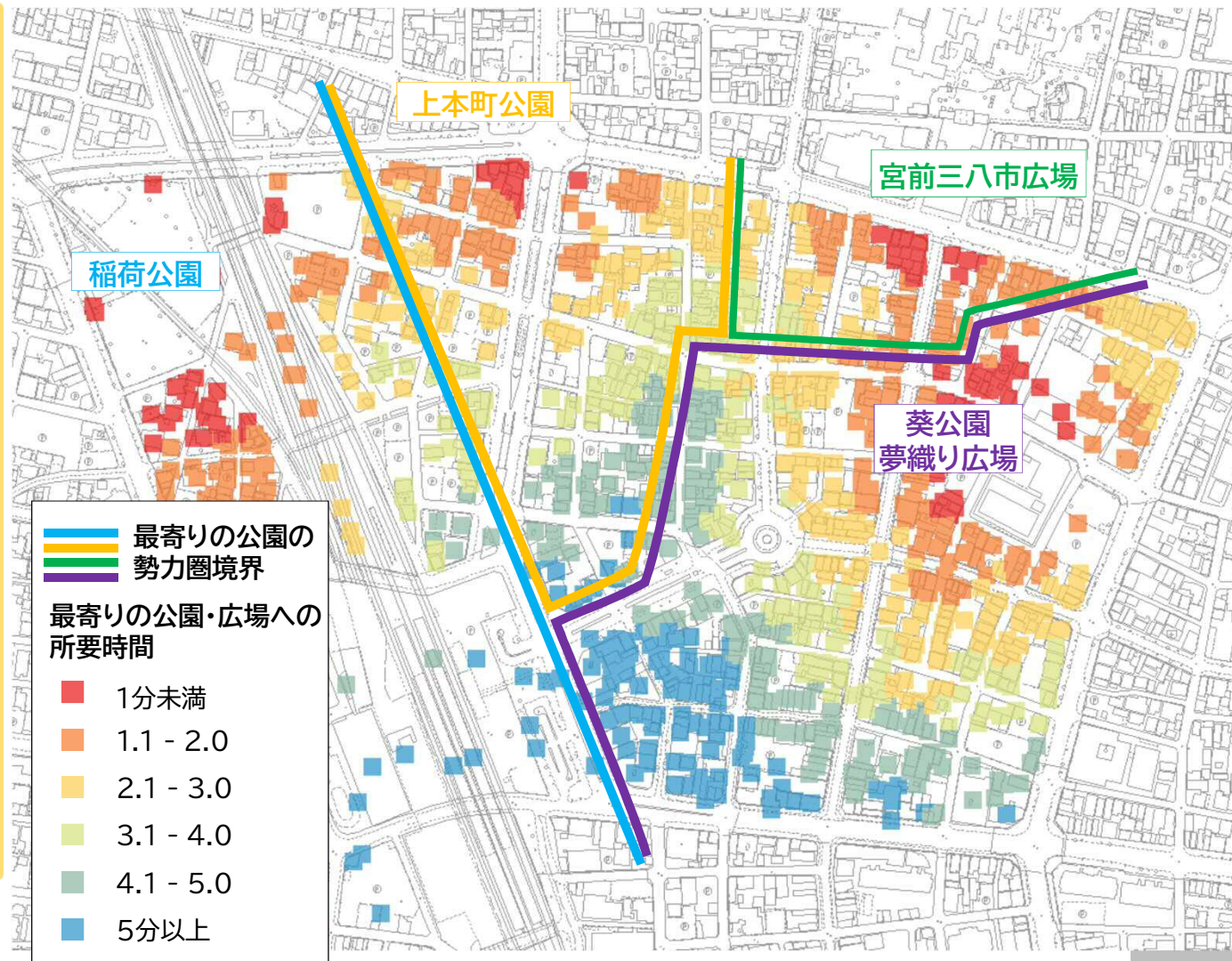
- ・ 現状では駅周辺の公園や広場は少なく、特に駅や銀座通り沿道からの広場へのアクセス性が低い
- ・ 駅前のまとまったオープンスペースはアクセス面で優位性が高い

まちなかの広場に対する期待

- 子どもが安全に安心して遊べる場所、想いを表現できる場所をまちなかにつくってほしい
- 若い子が集える場所になってほしい
- 親子連れや子供たちを受け入れる空間・雰囲気
- 若者のチャレンジの場とする工夫がほしい
- 災害時に避難できる場所にならないか

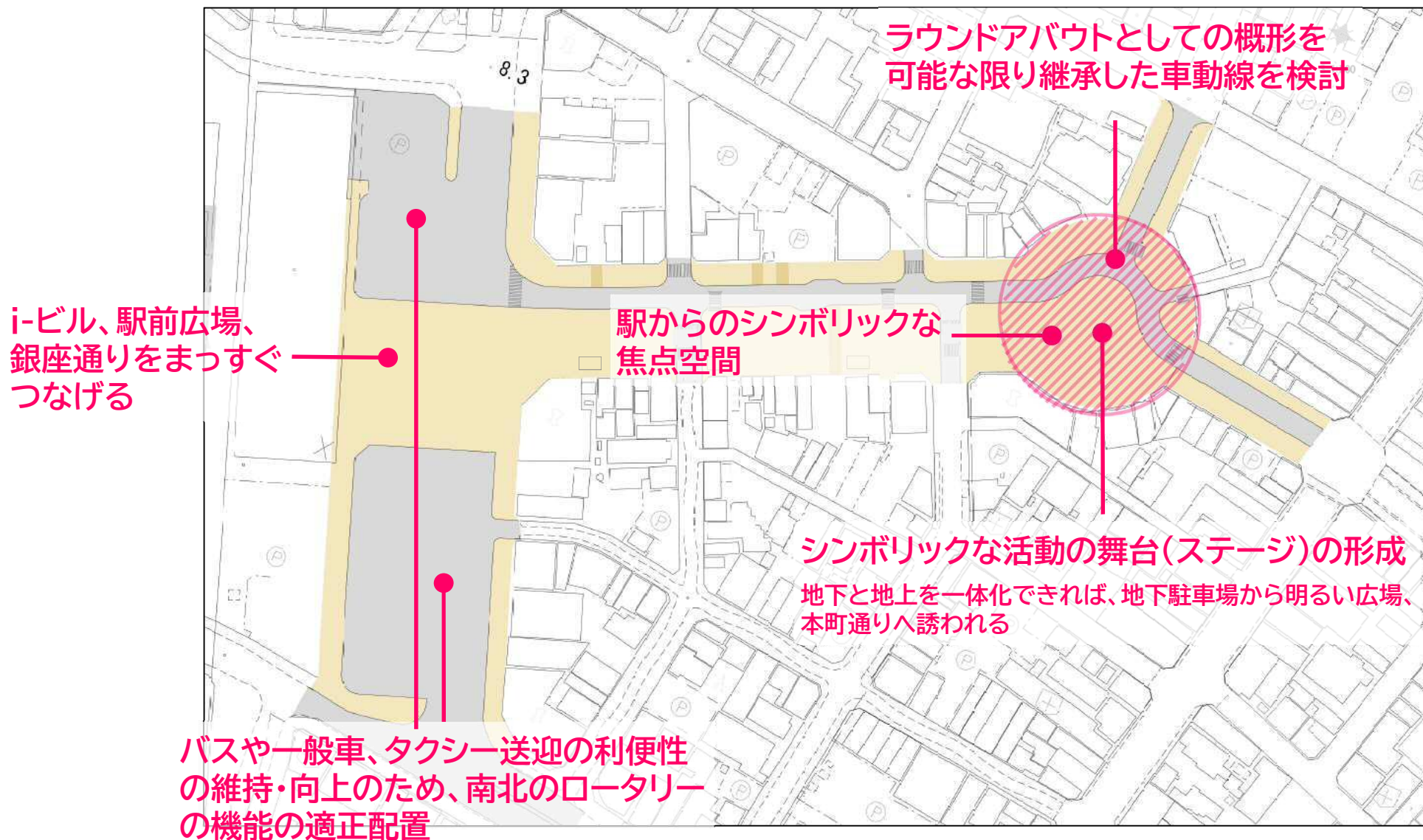
シンポジウム参加者意見

駅周辺の公園・広場のカバーエリア



③銀座通りから本町通りへつなぐシンボリックな場

④駅前広場の機能再編



4. デザイン懇談会の提案における交通影響と検討課題

交通影響の検証項目

①千歳通りの通行止めによる周辺道路への影響

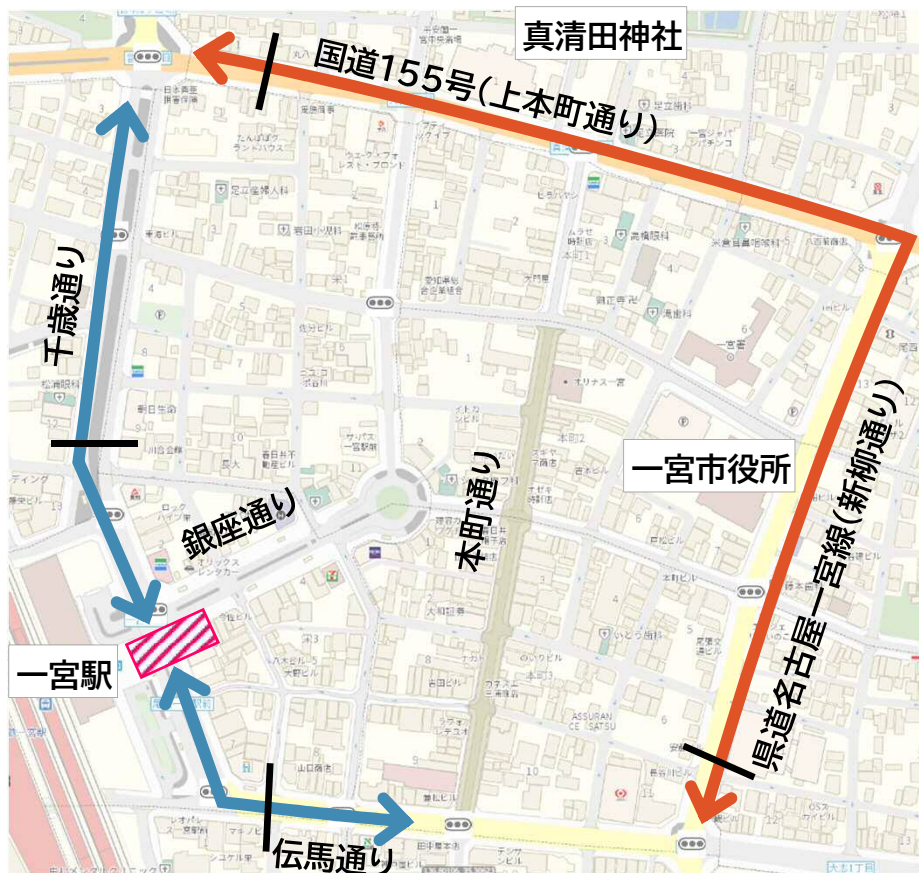
②千歳通りの通行止めや銀座通り一方通行による
沿道アクセスへの影響

③銀座通りに必要な停車スペースの確保の検討

①千歳通りの通行止めによる周辺道路への影響

- 千歳通りの通行止めにより、千歳通りや伝馬通りを通行する車両が主に国道155号、県道名古屋一宮線に迂回することが想定される
- 交通シミュレーションでは、迂回先の国道155号及び県道名古屋一宮線の交通量は2～3割ほど増加

千歳通り通行止め影響が大きい路線



再編時の断面交通量の変化

	千歳通り 通行止め	千歳通り 通行止め ＋ 銀座通り 一方通行化
千歳通り	28%減	31%減
伝馬通り	28%減	23%減
国道155号	28%増	28%増
県道名古屋一宮線	26%増	29%増

※12時間断面交通量

①千歳通りの通行止めによる周辺道路への影響

- 交通量の増加による周辺道路の混雑は、現状から大幅に悪化するほどではないことを確認
- 駅前を利用しない通過交通排除により、駅や銀座通りへのアクセスに対する混雑は大幅に改善



交通容量比

→ 1.0 以上

→ 0.7 - 1.0

→ 0.5 - 0.7

→ 0.3 - 0.5

→ 0.3 未満

✓ 「交通容量比」とは、道路がどれだけの車を走らせることができるかの容量に対して、実際にどれだけの車が走っているかの比率を示す

✓ 交通容量比が 1.0 以上の場合、交差点を通過するために複数回の信号待ちが発生＝渋滞が発生していることを示す

	現状	千歳通り通行止め	千歳通り通行止め＋銀座通り一方通行化
駅口一タリ一周辺	1.30	0.24	0.23
伝馬通り	0.52	0.27	0.28
国道155号	0.50	0.64	0.64
県道名古屋一宮線	0.58	0.65	0.67

②沿道アクセスへの影響

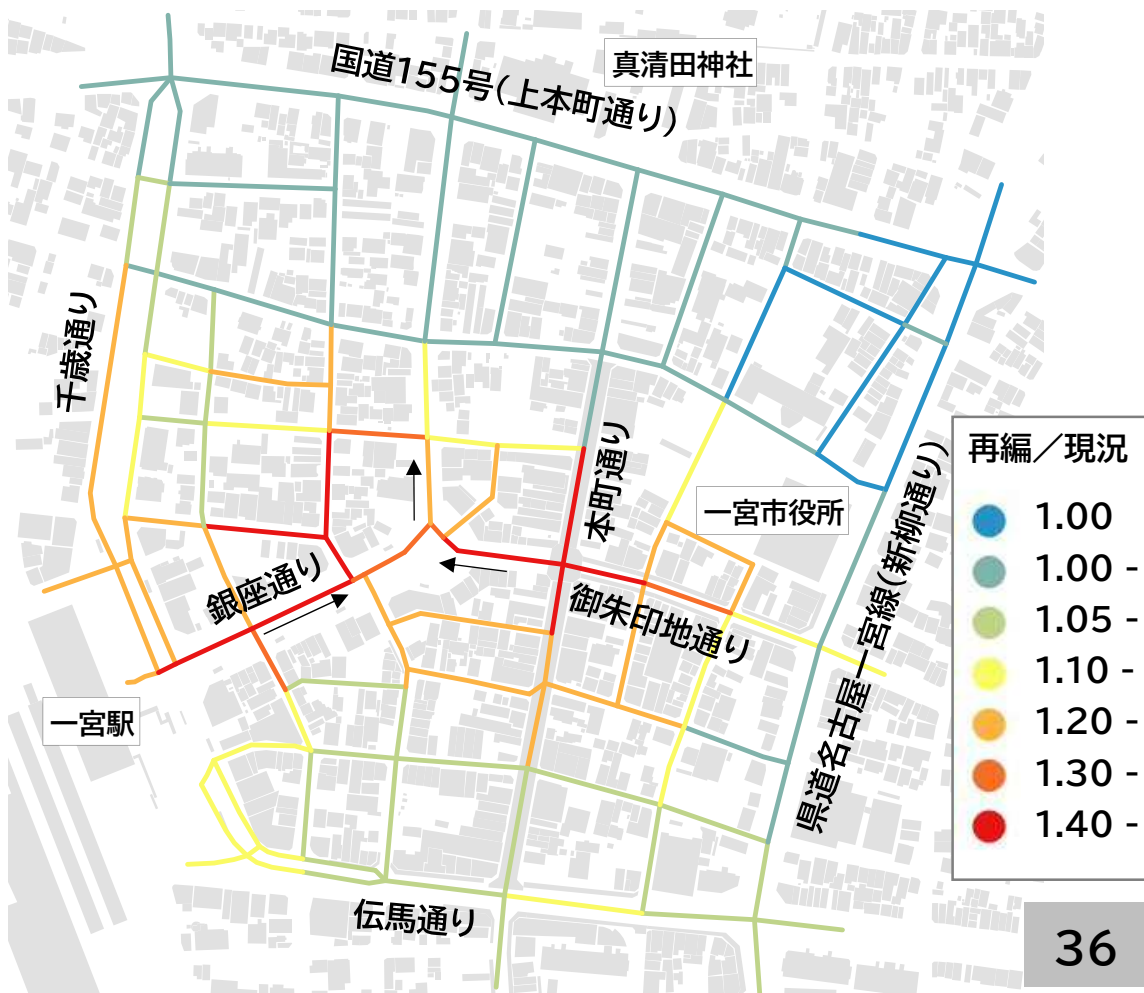
- 千歳通り通行止めは、沿道アクセスにほとんど影響はない
- 千歳通りの通行止めに加え、銀座通りを一方通行化した場合、沿道アクセスへの影響が大きいため、周辺の一方通行の見直しを合わせ、その実現可能性を検証する必要

沿道アクセスのための走行距離の増加率

(千歳通り通行止め)

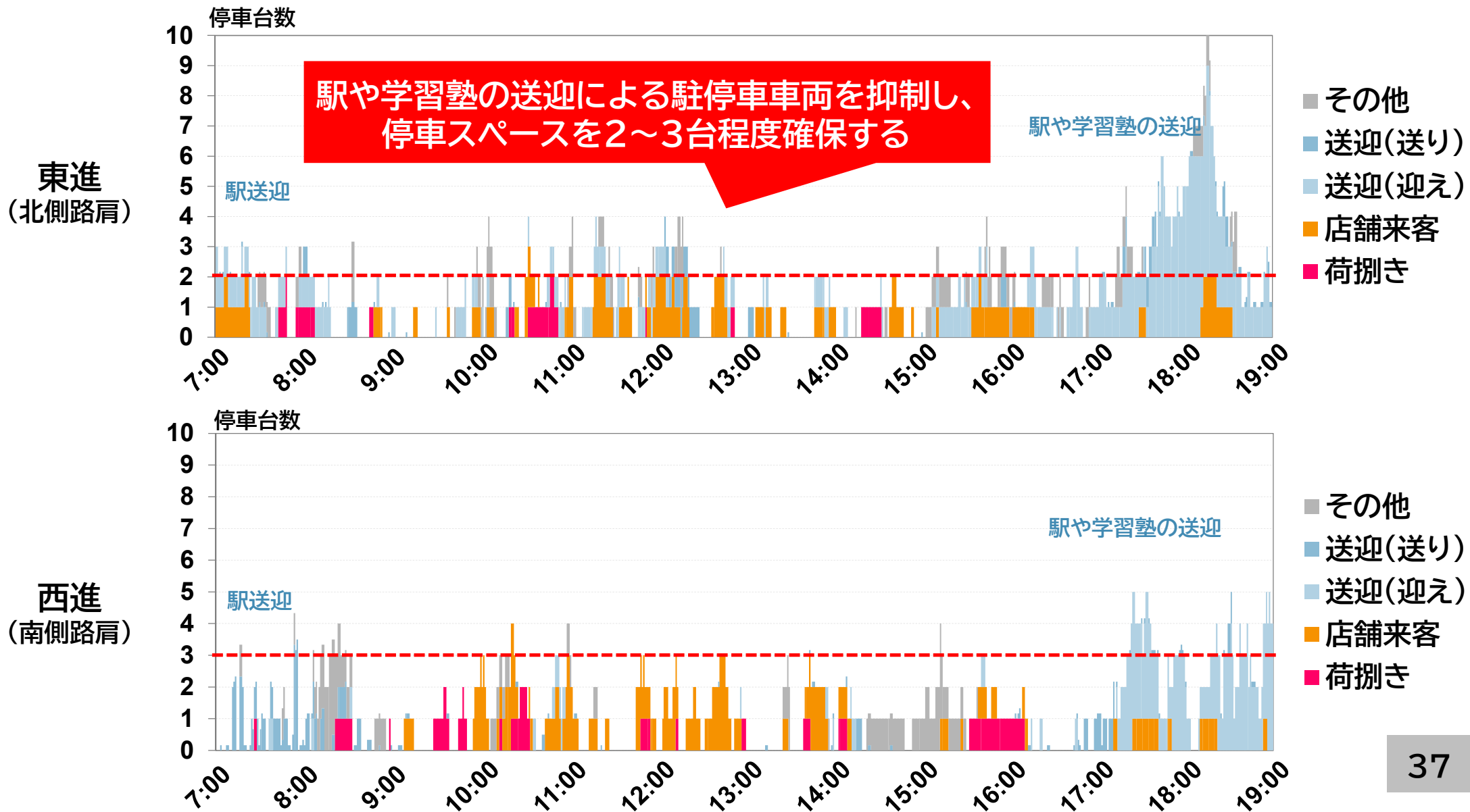


(千歳通り通行止め+銀座通り一方通行化)



③銀座通りに必要な停車スペースの確保の検討

- 銀座通りの路肩は駅等の送迎のための駐停車が多くを占める
- 現状の荷捌き、沿道店舗への立ち寄りのための停車スペースは各方向2～3台程度必要
- ただし、駅等の送迎のための駐停車は可能な限り抑制する対策を合わせて検討する必要



今後の進め方

- 今年度は皆さまとの意見交換を3回＋必要に応じて実施し、具体的な整備の方向性を検討
- 関係者間で方向性を共有できた段階で、事業化を予定
- 計画段階等においても、プラン条件計画内容について意見をいただきながら具体化していく予定

構想

一宮市の課題を踏まえ、まちなかが目指すべき姿、デザインの考え方など有識者から提案をいただく

方向性の共有

地域の皆さまとの対話を重ね、整備の大きな方向性を共有

事業化

皆さまと大きな方向性を共有できた段階で移行

計画設計

社会実験を行いながら、詳細なデザインを検討
引き続き地域と議論し検討を実施

工事

5. 意見交換

5. 意見交換

(参考)これまでにいただいた主なご意見

- 一宮駅から本町商店街まで歩いて楽しい景色をつくってほしい
- 緑が多く、芝生に座って食事ができるような空間がほしい
- ベビーカーでも歩きやすい道路整備をしてほしい
- 子どもが安心安全に遊べる場所をまちなかにつくってほしい
- 銀座通りの車道や停車スペース、地下駐車場へのアクセス路は必要
- 銀座通りの一方通行化と千歳通りの通行止めは周辺の渋滞が悪化するのではないか、不便にならないか
- ラウンドアバウト(ロータリー)は残してほしい
- 本町商店街を盛り上げれば、もっと人が集まるのでは
- 車道を変えなくても、現状の歩道の活用で十分では(ボディらっく杉村氏)
- 銀座通りの植樹帯を撤去し沿道の出店やチャレンジブースをつくってはどうか(ボディらっく杉村氏)
- 案内板の設置や歩道をカラー舗装し銀座から本町への流れをつくってはどうか(ボディらっく杉村氏)

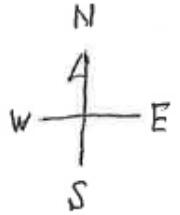
これでも十分「ラフォーレ」
では？

PLAN(A)

道路は停車場も
含めてすべて従来通り

2024.7.30

一宮市銀座通商店街振興組合
理事長 畠田隆裕 作画



- 緊急車両が入りやすくなる
- 生活・営業で使用している
- (P)への出入口がなくなる
- 道路に面しない土地は価値が下がる

シンボリックな
ラフォーレは
一宮の象徴

駅から歩行者が
歩けるパースペクティブ

イベントスペースに
使える広い歩道を
中央に設置

千歳通り

中央分離帯を
なくし、中央に2本
の道路を集めると
左右12mずつの
歩道が出来る

(斜線部はイベント
スペース)

地下駐車場 出入口

街路灯や歩道、車道の
床面の色、材質も議論
すべきでは？

例：島根県出雲市
の出雲大社前の
参道をすべて石畳で統一
意識したら？

南側、東側からの
車の流入を残す

次回説明会のお知らせ

今後の進め方

第3回対話型説明会

2024年11月19日(火)

14時00分～16時00分

一宮市役所本庁舎 11階 1101会議室

第4回対話型説明会

2024年11月23日(土)

14時00分～16時00分

一宮市役所本庁舎 11階 1101会議室

議事

・8月27日(火)、10月20日(日)に開催された対話型説明会における意見を踏まえた検討結果について

・一宮市との意見交換

※第3回、第4回は同様の説明内容です。

第5回対話型説明会

2025年1月頃開催予定

まちなかの未来を 一緒に考えませんか？

一宮駅周辺ウォークブル推進事業 対話型説明会を開催します

事前申込みは不要です！当日会場にお越しください。

第2回対話型説明会

日時 2024年10月20日(日) 14時～16時

場所 一宮市役所本庁舎 14階 大会議室

議事
・一宮駅周辺地区デザイン懇談会の検討経緯について
・一宮市との意見交換

※8月27日(火)に開催された第1回対話型説明会と同様の内容です。

第3回対話型説明会

日時 2024年11月19日(火) 14時～16時

場所 一宮市役所本庁舎 11階 1101会議室

議事
・8月27日(火)、10月20日(日)に開催された対話型説明会における意見を踏まえた検討結果について
・一宮市との意見交換

第4回対話型説明会

日時 2024年11月23日(土) 14時～16時

場所 一宮市役所本庁舎 11階 1101会議室

議事
・8月27日(火)、10月20日(日)に開催された対話型説明会における意見を踏まえた検討結果について
・一宮市との意見交換

※第3回、第4回は同様の内容です。

問い合わせ先

一宮市まちづくり部都市計画課 まちなか事業グループ

TEL:28-8981

今後の進め方

一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクト

**まちなかを考える
シンポジウム**

参加
無料
事前申込制

一宮駅周辺では、居心地よく、歩きたくなるまちなかを目標として、
まちなかウォーカブル推進事業を進めています。
そこで今年度は、自分たちが暮らしたい活力のあるまちなかの実現に向けて、
将来のデザインと実現方法を考える連続ディスカッションを行います。
若い世代や子育て世代の方も、皆さま、ふるってご参加ください。

第4回
人の流れをまちなかに生み出すために

11/5 火 17:30~19:30
2024

会場
本町商店街(オリナス一宮前)

まちなかアイデアディスカッション
|進行| 錦二丁目エリアマネジメント株式会社
代表取締役 名畑恵氏
ホシマチチャレンジの取り組みを紹介し、まちなかエリアを歩きやすく、
暮らしやすくするためのアイデアや仕組みを議論します。

第2回 4/15 月 終了
一宮駅前のこれからを
考えよう

第3回 7/30 火 終了
まちなかの持続的な
運営のために

第5回 3月ごろ
未来の実現に向けて
動き出すために(仮)

|申込方法| 右の二次元コードから電子申請または電話
[先着順] 定員100名

|共催| 一宮まちなか未来会議・一宮市
|お問い合わせ・申込み先| 一宮市都市計画課 ☎ 0586-28-8981

